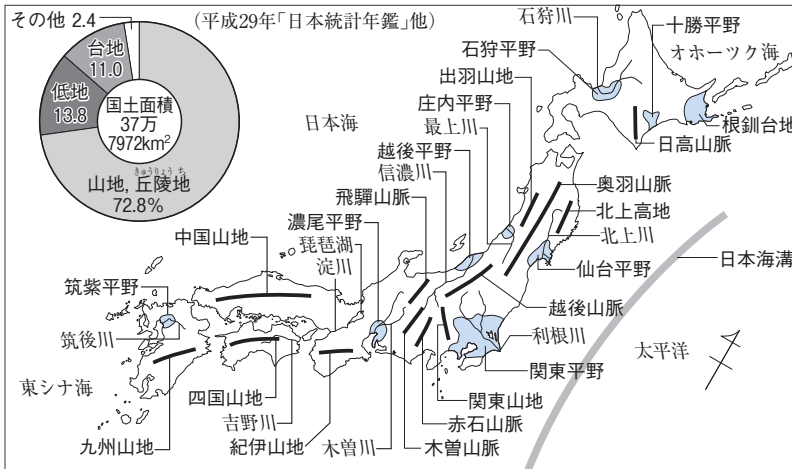




▲A 日本の主な山脈、川、平野 国土は山がちである

1 地形から見た日本の特色 (図表のワーク①～⑪) 教科書 P.158～161

- (1) 変動帯…地震の震源や火山が帯のように連なり、大地の変動が活発。太平洋を取り囲む環太平洋地域や、アルプス山脈からヒマラヤ山脈、インドネシア東部にかけての地域。火山の活動や地震が少ない地域の多くは、風化・侵食による平たんな地形が広がる。
- (2) 山地…日本の陸地の約4分の3が山地・丘陵地。本州中央部の飛騨・木曽・赤石山脈は日本アルプスとよばれ、これより西側の山地は東西に連なる。一方、フォッサマグナの東側では山地が南北に連なる。
- (3) 日本の川…流れる距離が短く、急流で、流域面積が小さい。
- (4) 平地…海に面した平野、内陸の山に囲まれた盆地に分かれる。扇状地・三角州・台地などの地形も見られる。
- (5) 海岸…砂浜海岸には砂丘が発達。岩場が続く岩石海岸。湾と岬が連続するリアス海岸が見られるところもある。
- (6) 海…日本は海に囲まれた海洋国(島国)、近海には、深さ約200mまでの大陸棚や、深さ8000mをこえる海溝。東日本の太平洋沖に暖流の黒潮(日本海流)と寒流の親潮(千島海流)がぶつかる潮境。

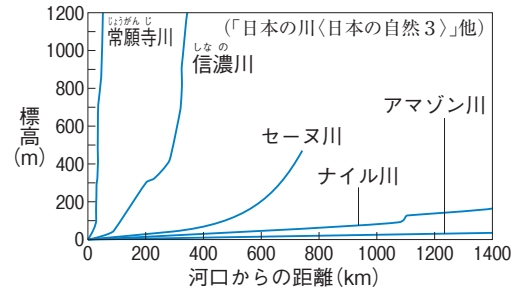
2 気候から見た日本の特色 (図表のワーク⑫～⑰) 教科書 P.162・163

- (1) 温帯…地中海性気候や西岸海洋性気候、日本の大部分が含まれる温暖湿潤気候に分かれる。日本は季節風(モンスーン)の影響が強く、四季が明確。梅雨の時期は降水量が多い。台風による風水害もおきやすい。
- (2) 地域ごとの気候…南西諸島や小笠原諸島は亜熱帯。北海道は冷帯(亜寒帯)で、梅雨がない。冬の季節風は日本海側に雪や雨を、太平洋側に晴天の日をもたらす。山地に囲まれた瀬戸内と中央高地は、降水量が少ない。

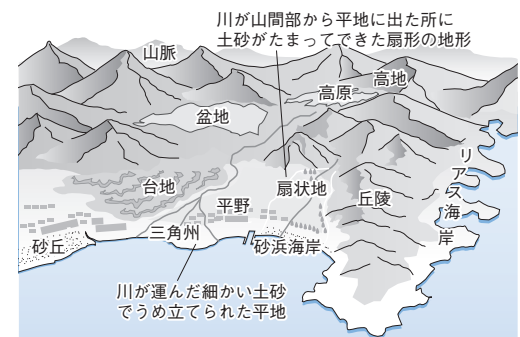
3 自然災害と防災・減災への取り組み (図表のワーク⑱～㉔) 教科書 P.164～167

- (1) 自然災害…地震→土砂くずれ、液状化、津波。火山→火山灰の噴出、火砕流。梅雨や台風による大雨→河川のはんらん、土砂くずれ、土石流、強風・高潮。夏の低温で作物の生育が悪くなる冷害。干害。雪崩。
- (2) 被災地支援・防災…自衛隊の救命・救出活動。ボランティアの活動。防災マップ(ハザードマップ)の作成。2011年の東日本大震災をきっかけに、都道府県・市区町村・住民の防災・減災への取り組みが変化。

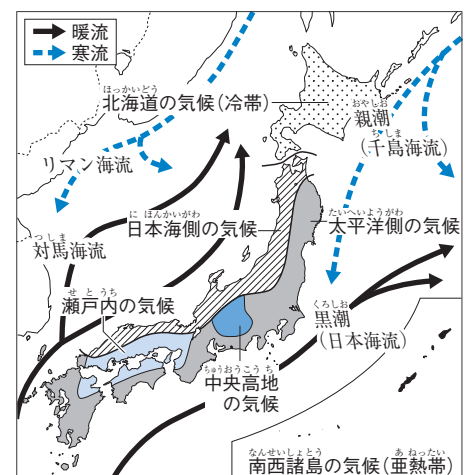
事前の対策で自然災害による被害をできるだけ小さくしようという考え方



▲B 日本と世界の川の流れ



▲C 山地と平地、海岸の地形

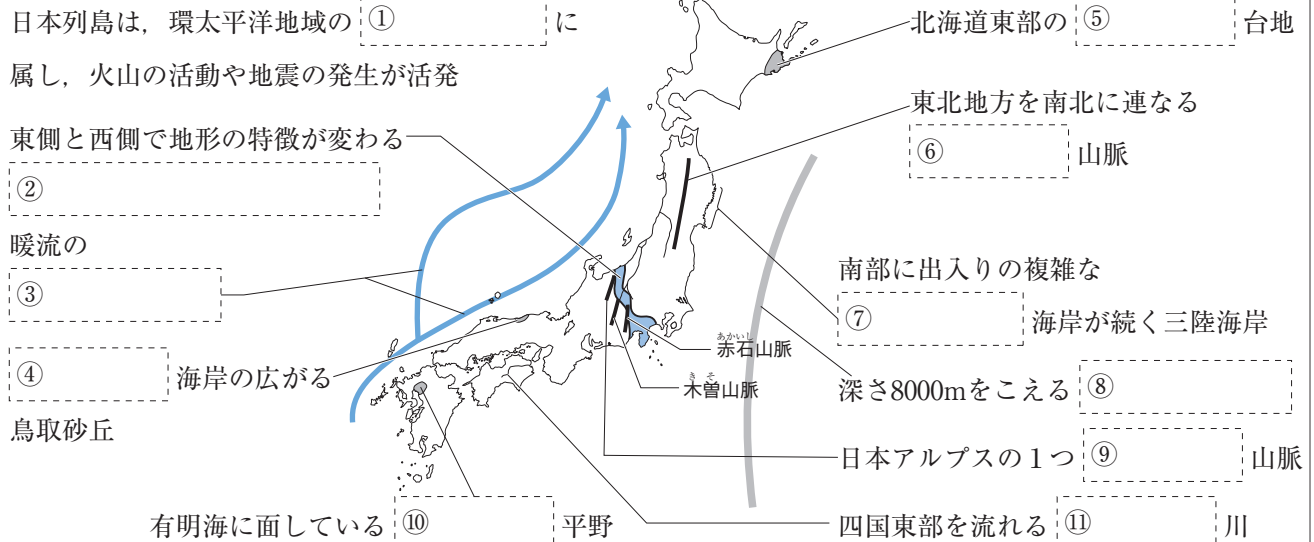


▲D 日本の気候区分と海流

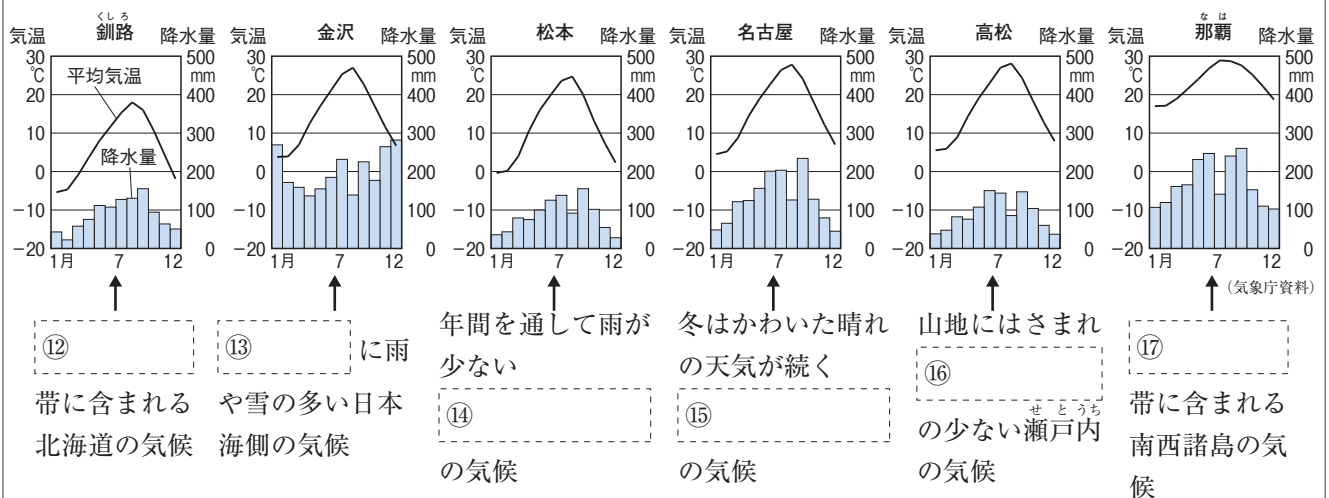
☒ 図表のワーク

 学習のまとめを見て
図表を完成させよう

日本の地形



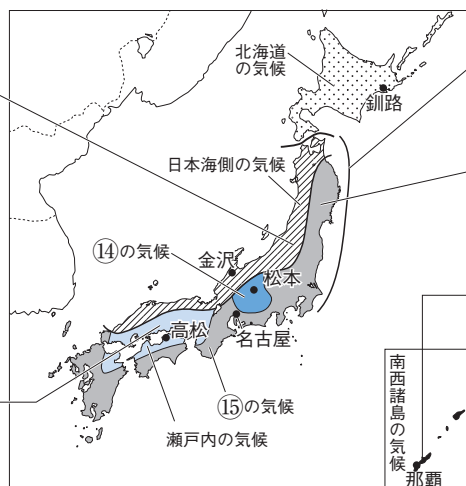
日本の気候区分と自然災害



2011年3月11日の⑳

日本海側や山岳地域では雪がくずれ落ちる㉑が発生しやすい

瀬戸内地方では雨が⑲ 少ない年に㉒がおきやすい



で発生した㉑の被害を受けた地域

東北地方北東部では夏の低温による㉒がおきやすい

南西諸島では夏から秋にかけて㉓などの熱帯低気圧による風水害がおきやすい

㉓や梅雨による大雨は河川のはらんや土砂くずれ、㉔などを引きおこす

確認問題

→類題演習 P.102

① 地形から見た日本の特色 次の文中の□□□□□にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- (1) 太平洋を取り囲む環太平洋地域や、アルプス山脈からヒマラヤ山脈、インドネシア東部にかけての□□□□□には地震の震源や火山が帯のように連なっている。()
- (2) (1)の活動が少ない平坦な地形は、数億年以上の風化や□□□□□の作用で形成された。()
- (3) 日本列島は、陸地の約4分の□□□□□を山地・丘陵地が占めている。()
- (4) 飛騨・木曽・赤石山脈は、ヨーロッパの山脈になぞらえて□□□□□とよばれる。()
- (5) (4)の東側に南北にのびる□□□□□を境に、東西で地形が変わり、東側では山地が南北に連なる。()
- (6) 日本の川は流れる距離が短く、急流で、□□□□□がせまい。()
- (7) 平地のうち、海に面した部分を□□□□□という。()
- (8) 川が山間部から平野や盆地に出た所に土砂が積もってできた地形を□□□□□という。()
- (9) 川が海や湖に流れ込む所に土砂が積もってできた地形を□□□□□という。()
- (10) 一面砂におおわれた□□□□□海岸には、砂丘が発達している所がある。()
- (11) 三陸海岸などに見られる□□□□□は、奥行きのある湾と岬が連続し、複雑な海岸線となっている。()
- (12) 日本列島の周辺には、深さ約200mまでの平坦な□□□□□という海底が広がる。()
- (13) 東日本の太平洋沖から小笠原諸島の東までの海底には、深い□□□□□が連なる。()
- (14) 暖流の□①□と寒流の□②□が東日本の太平洋沖でぶつかり、潮境となっている。
□□□□□ ①() ②()
- (15) 日本海には(14)の①から分かれた□□□□□が、日本列島に沿って北上している。()

② 気候から見た日本の特色 次の問いに答えなさい。

- (1) 温帯のうち、夏は乾燥し、雨はおもに冬に降る気候を何というか。()
- (2) 温帯のうち、緯度が高いわりに温暖で、一年を通じて一定の降水がある気候を何というか。()
- (3) 温帯のうち、日本の大部分が属する気候を何というか。()
- (4) 日本の気候に影響をあたえている、夏は太平洋から、冬はシベリアから吹く風を何というか。()
- (5) 本州以南で初夏にみられる、降水量が多くなる時期を何というか。()
- (6) 雨の多い南西諸島や小笠原諸島の、熱帯に近い気候を何というか。()
- (7) 年間の降水量が少なく、冬の気温がかなり低くなる北海道が属する気候帯を何というか。()

③ 自然災害と防災・減災への取り組み 次の文中の□□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 震源が海底であった2011年の□①□では、広範囲の海岸に□②□が押しよせ、大きな被害が出た。また、
□□□□□ 地盤の□③□化もおこった。①() ②() ③()
- (2) ふだんから自然災害の被害予測や避難場所などをまとめた地図である□□□□□を確認しておき、実際に災害がおきた場合に適切な行動をとれるようにしておくことが大切である。()

練習問題

1 地形を分類した右の表を見て、次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 表中の①～⑥にあてはまる地形を、次からそれぞれ選びなさい。

☐ 平野 高原 かいこう 海溝
☐ 台地 山脈 たいりくだな 大陸棚

- ☐ (2) 表中のAについて、中央高地には標高3000m前後の山々が連なっている。この地域をヨーロッパの地形にちなんで何とよぶか。

- ☐ (3) 日本の国土面積(約38万km²)の約4分の3を占めている表中のBや山地の面積を、次から選び記号で答えなさい。

ア 約9万km² イ 19万km²

ウ 約23万km² エ 29万km²

- ☐ (4) 日本の周辺を流れる暖流を2つ答えなさい。
☐ (5) 日本列島が含まれる、地震の震源や火山が帯のように分布する場所を何というか。

陸上の地形	
(①)	A 山が列状に連なる場所
高地	標高が高く、起伏が大きい場所
(②)	標高が高く、起伏が小さい場所
B 丘陵	標高が低く、起伏が小さい場所
(③)	標高が低く、海に面した平たんな場所
ほんち 盆地	山に囲まれた平たんな場所
(④)	(③)や盆地のうち、一段高い平たんな場所
海底の地形	
(⑤)	深さ約200mまでの平たんな場所
(⑥)	プレートがほかのプレートにしずみこむ溝状の深い場所

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 地図中のA～Fは、日本の気候を6つに区分したものである。亜熱帯ともよばれる気候をA～Fから選び、記号で答えなさい。

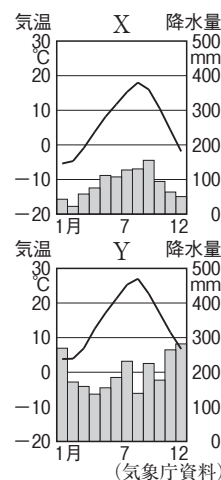
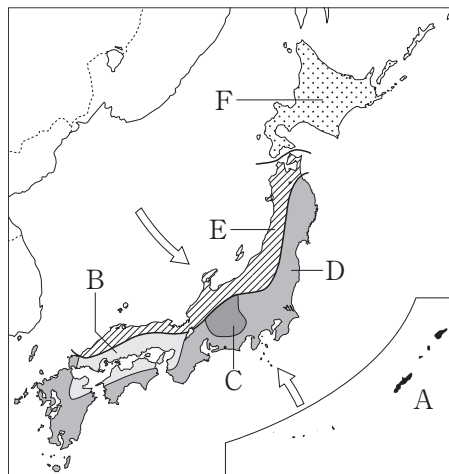
- ☐ (2) 右下の雨温図X・Yで特色を示した気候を、地図中のA～Fからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ☐ (3) 右のXの雨温図の気候を除く日本は、温帯の中でも特に春夏秋冬の□がはっきりしている。□にあてはまる語句を答えなさい。

- ☐ (4) 日本の気候は、地図中に⇒で示した、夏と冬で向きが変わる風の影響を強く受けている。この風を何というか。

- (5) 日本列島は大地の動きや気象による自然災害を受けやすい。次の①～④で述べた自然災害をそれぞれ答えなさい。

- ☐ ① 山腹に積もった雪が大量にくずれ落ちてくる。
☐ ② 夏の低温により作物の生育が悪くなる。
☐ ③ 火山からふき出した高温のガスや溶岩が、高速で流れ下る。
☐ ④ 地震によって、高い波が発生しておしよせてくる。



1 学習のまとめ ①

(1) ①

②

③

④

⑤

⑥

(2)

(3)

(4)

(5)

2 学習のまとめ ②・③

(1)

(2) X

Y

(3)

(4)

(5) ①

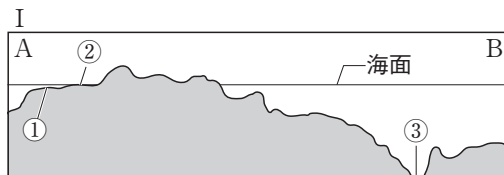
②

③

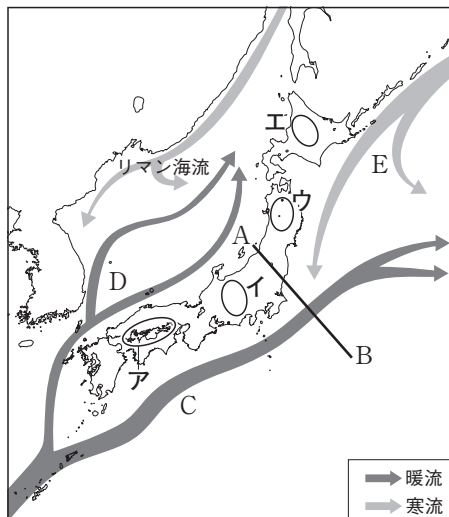
④

Key プラス

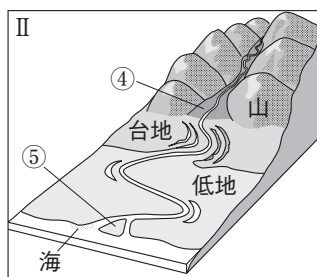
1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。



- (1) 上の図 I は、地図中の A - B の線に沿った断面図を示している。図 I 中の①には、深さ200mまでの平坦な海底地形が見られる。このような地形を何というか。
- (2) 図 I 中の②の地域に広がる平野の名前を答えなさい。
- (3) 図 I 中の③の海底は、深さ8000mをこえる深い溝となっている。この地形を何というか。



- (4) 地図中のア～エのうち、日本アルプスがある地域を選び、記号で答えなさい。
- (5) 地図中の C～E の海流の名をそれぞれ答えなさい。
- (6) 地図中の E の海流が沖合に流れる沿岸部で、リアス海岸が見られる地域を、次から選んで答えなさい。
わかさ 若狭湾 みやま 宮崎平野 さんりく 三陸海岸 とっとり 鳥取平野
- (7) 図 II の④・⑤の地形名を答えなさい。また、④・⑤の地形ができた原因には、共通点がある。どのような働きによってできたか、簡単に説明しなさい。



1 の答え

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) C _____
- D _____
- E _____
- (6) _____
- (7) ④ _____
- ⑤ _____
- 共通点 _____
- _____
- _____

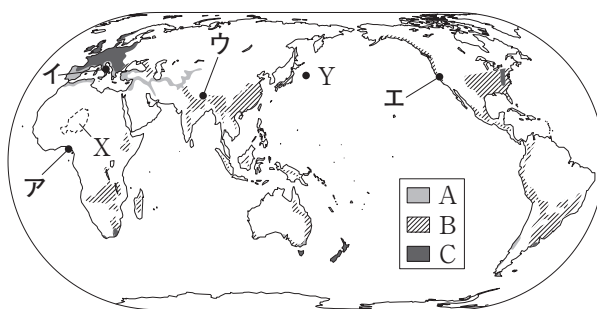
2 の答え

- (1) A _____
- B _____
- C _____
- (2) _____
- _____
- _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 温帯のうち、地図中に A
 □ ~C で示した気候を、次からそれぞれ選んで答えなさい。

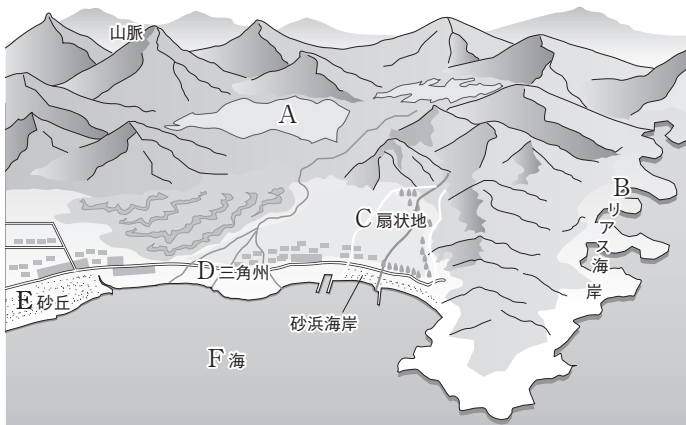
しつじかん
 温暖湿潤気候
 西岸海洋性気候
 地中海性気候



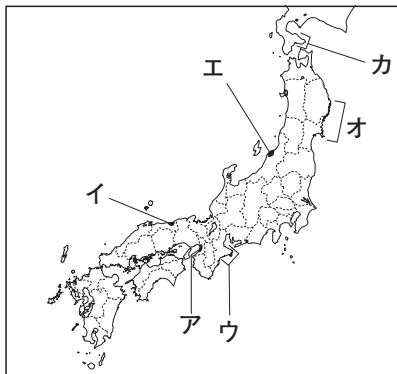
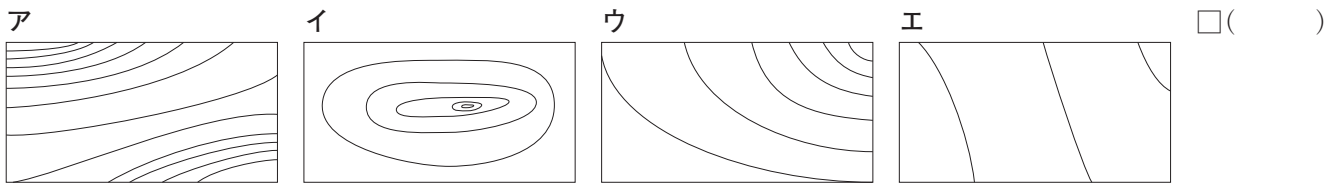
- (2) 地図中の X の国から 8 月の東京へ旅行にきた人は、東京の気候に対してどのような感想を持つと考えられるか、X の国と比較したうえで説明しなさい。
- (3) 2011 年に地図中の Y を震源としておきた地震にともなう災害を何というか。
- (4) 変動帯に含まれない地域を、地図中のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- (5) 地図中の Y でおこった地震の被災地では、がれきの撤去や避難所でのたき出しなどで、各地から無償で支援活動を行う _____ が集まった。_____ にあてはまる語句をカタカナで答えなさい。

ここで得点アップ!

1 次の地形の模式図を見て、問いに答えなさい。

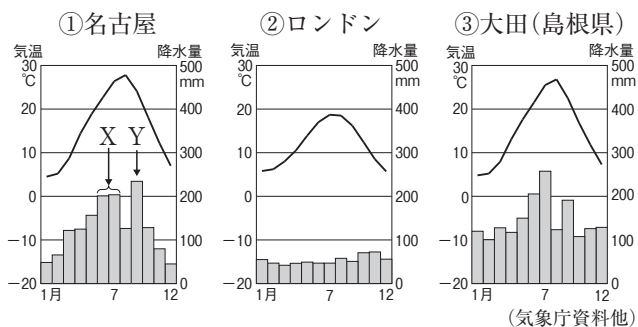


- (1) 図中のAは、山に囲まれた平地である。これを何というか。 □()
- (2) 図中のBの地形は、奥行きのある湾と岬が連続している。この湾の部分には、人々によってどのように利用されることが多いか。簡単に書きなさい。
□()
- (3) 図中のCについて、扇状地の特色を表している等高線の形を、次から選び、記号で答えなさい。



- (4) 図中のCやDの地形は、川が運んできた土砂によってつくられている。日本列島を流れる川の流れには、どのような特色があるか。大陸に見られる川と比べて、「距離」と「流域面積」の2つの語句を使って説明しなさい。
□()
- (5) 図中のB・Eの地形が見られる地域を、左の地図中のア～カから2つずつ選び、記号で答えなさい。
□□B()()
□□E()()
- (6) 図中のFについて、東日本の太平洋沖で暖流と寒流がぶつかり、よい漁場になっている海域を何というか。 □()

2 次の雨温図を見て、問いに答えなさい。



- (1) ①と②は同じ温帯であるが、年間を通した気温と降水量の変化によって異なる気候に分けられる。それぞれの気候名を答えなさい。
□①() □②()
- (2) ①の雨温図のXは降水量の多いAという時期にあたり、Yは熱帯付近で発生したBという熱帯低気圧がしばしば風水害を引き起こす時期にあたる。

A・Bにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。 □A() □B()

- (3) AやBによる大雨で、土砂が川などを流れ下る自然災害を何というか。 □()
- (4) 自然災害が起きたときの対策として作成されている防災マップ(ハザードマップ)とはどのような地図か。
□()
- (5) ③は、①とほぼ同じ緯度に位置する日本海側の都市であるが、冬の降水量にちがいが見られる。そのちがいについて、原因となっている風の名を用いて簡単に説明しなさい。
□()

定期テスト対策 Ⅲ 標準編 Ⅲ

単元3 日本の地域的特色と地域区分(2)
単元4 日本の地域的特色と地域区分(3)

得点

教科書 P.168~177, 180・181

実施時間のめやす⇒25分

100点

1 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。⇒教科書P.168~171, 180・181

(各4点)

(1) 資料Ⅰについて、次の問いに答えなさい。

- ① 65歳以上の人口の割合が28%以上～30%未満の都道府県はいくつあるか。数字で答えなさい。()
- ② 65歳以上の人口の割合が増加し、出生数が減少していくことを何というか。答えなさい。()
- ③ 65歳以上の人口の割合が高い地域では、著しく人口の減少が進み、経済が衰退している。このような現象を何というか。()
- ④ ③が進む地域で発生する問題として誤っているものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 仕事の機会が減る。 イ 公共施設が統合される。
ウ 鉄道・バスが減便される。
エ ごみ処理施設が不足する。()

□⑤ A～Cの都市を中心とする都市圏を合わせて何というか。()

□(2) 資料Ⅱ中のA～Cにあてはまる鉱産資源の組み合わせとして正しいものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア A－鉄鉱石 B－石炭 C－石油
イ A－鉄鉱石 B－石油 C－石炭
ウ A－石油 B－石炭 C－鉄鉱石
エ A－石油 B－鉄鉱石 C－石炭
オ A－石炭 B－石油 C－鉄鉱石
カ A－石炭 B－鉄鉱石 C－石油

()

(3) 資料Ⅲ・Ⅳについて、次の問いに答えなさい。

□① 資料Ⅲ中のXにあてはまるものを、次から選び、記号で答えなさい。

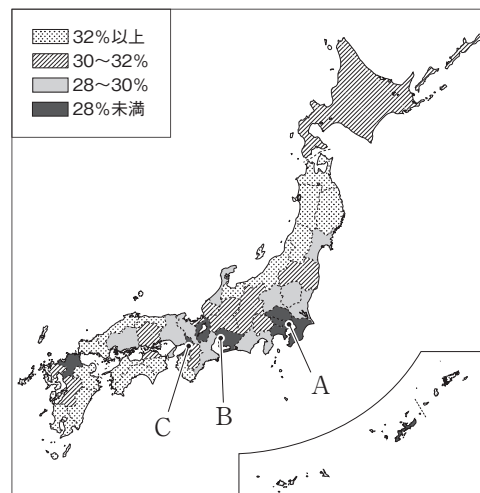
- ア 原子力 イ 太陽光 ウ 水力 エ 火力
()

□② 地球温暖化の原因の1つとなるガスをまとめて何というか。
また、そのガスの排出量が最も多い発電所の分布を、資料Ⅳ中のア～エから選び、記号で答えなさい。

ガス()

発電所()

Ⅰ 都道府県別65歳以上人口の割合



(2019年)

(総務省)

Ⅱ おもな鉱産資源の輸入先

A	カタール			
	サウジアラビア 35.8%	アラブ首長国連邦 29.7	8.8	その他 25.7
B	インドネシア			
	オーストラリア 58.7%	15.1	ロシア 10.8	その他 15.4
C	カナダ			
	オーストラリア 57.3%	ブラジル 26.3	6.2	その他 10.2

(2019年)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

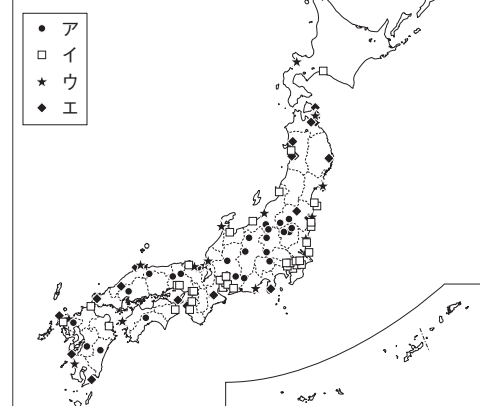
Ⅲ 日本の発電量の割合

X			その他 2.5
85.5%	Y	8.9	
	Z	3.1	

(2017年度)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

Ⅳ おもな発電所の分布



(2017年)

(2017年版「電気事業便覧」他)

2 次の問いに答えなさい。⇨教科書P.172～177

((4)8)完答, (2)各3点, 他各4点)

- (1) 国内で消費される食料に占める, 国内で生産された食料の割合を何というか。 ()

- (2) Iのグラフは, ①米, ②小麦, ③肉類, ④野菜のいずれかの(1)を示している。①～④にあてはまるものを, Iのグラフ中のア～エからそれぞれ選び, 記号で答えなさい。

①() ②() ③() ④()

- (3) 第二次産業について, 次の問いに答えなさい。

- ① IIの地図中のXには, 工業地域が帯状に連なっている。この地域を何というか。 ()

- ② IIの地図中のA～Cの工業地帯の名を, それぞれ答えなさい。

A()

B()

C()

- ③ 1980年代後半から, 生産費用の安いアジアなどの国へ工場を移転する企業が増加し, 国内の工業がおとろえつつある。これを何というか。 ()

- (4) 第三次産業にあてはまるものを, 次からすべて選び, 記号で答えなさい。

ア 商業 イ 林業 ウ 建設業

エ 鉱業 オ サービス業

()

- (5) IIの地図中に——で示した高速交通網を何というか。 ()

- (6) IIの地図中のYの湾の海上にある国際空港を次から選び, 記号で答えなさい。 ()

ア 関西空港 イ 成田空港

ウ 新千歳空港 エ 中部空港

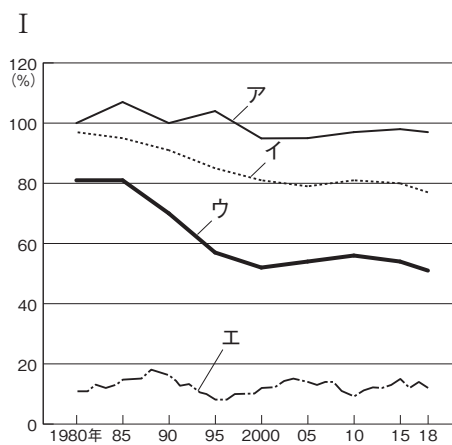
- (7) IIIのグラフは, 国内の貨物輸送量の割合の変化を示している。IIIのグラフのP～Rの輸送機関の特色を次からそれぞれ選び, 記号で答えなさい。

ア 重くて体積の大きい石油や石炭などの輸送に利用される。

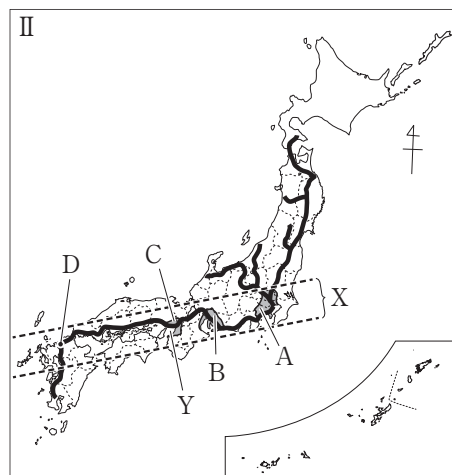
イ 正確な時間で輸送でき, 環境への影響が他の輸送機関よりも少ない。

ウ 戸口から戸口への輸送に便利で, 宅配便の配送などに利用されている。

エ 輸送のスピードが速く, 小型・軽量で高価な貨物や生鮮品の輸送などに利用される。



(食料需給表)



III	P	Q	R
1960年度 15.3億t	75.4%	15.5	9.1
1980年度 59.9億t	88.8%	2.8	8.4
2018年度 48.5億t	91.8%	0.9	7.3

(2020/21年版「日本国勢図会」他)

P() Q() R()

- (8) IIの地図中のAの工業地帯にある東京と各地の旅客輸送を比べると, 航空機の利用割合が最も多いのはBの中心都市, Cの中心都市, Dの都市のうちどれか。記号で答えなさい。 (と)

定期テスト対策 Ⅲ 応用編 Ⅲ

単元3 日本の地域的特色と地域区分(2)
単元4 日本の地域的特色と地域区分(3)

得点

教科書 P.168~177, 180・181

実施時間のめやす⇒30分

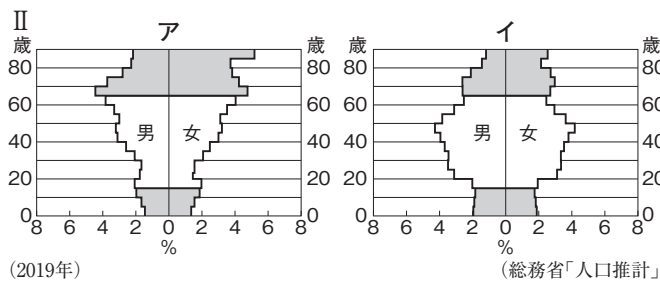
／100点

1 次の問いに答えなさい。⇒教科書P.168~171, 180・181

((1)完答, (3)~(5)各4点, 他各5点)

□(1) Iのグラフ中の4都府県のうち、少子高齢化が進み人口が減少していると考えられる都府県をすべて選んで答えなさい。()

□(2) IIのグラフのA・イは、秋田県と東京都のいずれかの人口ピラミッドである。秋田県にあてはまるものを記号で答えなさい。また、その記号を選んだ理由を簡単に答えなさい。



記号()

理由()

□(3) 日本の人口がおもに分布している場所を、次から選び、記号で答えなさい。()

A 離島 I 平野 U 山地

□(4) Iのグラフの鳥取県が属する地方の地方中枢都市を次から選び、記号で答えなさい。

A 神戸市 I 福岡市 U 名古屋市 E 広島市

()

(5) 次の①~③の立地が適している発電を、Ⅲの表 Ⅲ 日本の発電電力量の移り変わり

中のA~カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□① 大都市周辺の沿岸部

□② 内陸の山間部

□③ 火山や温泉地の近く

①() ②() ③()

□(6) 水力発電や太陽光発電、風力発電、地熱発電など、環境にやさしく、持続的に使用できるエネルギーの総称を答えなさい。

()

	1980年	2000年	2018年
A水力	92092	96817	87398
I火力	401967	669177	823589
U原子力	82591	322050	62109
E太陽光	—	—	18478
オ風力	—	109	6493
カ地熱	871	3348	2113
合計	577521	1091500	1000409

(単位：百万kWh)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

□(7) Ⅲの表では2000年から2018年にかけて、原子力発電の発電量が大きく減少している。この原因となった、2011年3月11日に発生した地震による災害の総称を何というか。答えなさい。また、この災害で発生した原子力発電の問題点を、簡単に答えなさい。

災害()

問題()

□(8) Ⅲの表から読み取れることとして正しいものを、次から選び、記号で答えなさい。()

ア 水力発電の発電量は、減少し続けている。

イ 火力発電の発電量は、1980年と比べて2018年には約2倍になった。

ウ 地熱発電の発電量が最も多いのは、2018年である。

エ 日本の発電量の合計は、1980年と比べて2018年には500000百万kWh以上増加した。

2 次の問いに答えなさい。⇨教科書P.172～177

(各5点)

□(1) Iのグラフは、日本の産業別人口割合の移り変わりを示

□
□ しており、グラフ中のA～Cには、第一次産業、第二次産業、第三次産業のいずれかがあてはまる。それぞれの産業

にあてはまるものを、A～Cから選び、記号で答えなさい。

第一次産業()

第二次産業() 第三次産業()

□(2) 地図中のXの臨海部に多くの重化学工業の大工場が立地している理由を、「原材料」「工業製品」という2つの語句を用いて、簡単に答えなさい。

()

□(3) 近年、内陸部の高速道路沿いでは機械工業がさかんである。高速道路沿いに工場を建設する利点を、簡単に答えなさい。

()

□(4) IIのグラフは、東京・大阪間の移動時間の変化を示している。新幹線が開通した年をグラフIIのA～Eから選び、記号で答えなさい。()

□(5) Ⅲのグラフは、ある輸送機関による日本の輸入品の重量別の割合を示している。この輸送機関は何か。答えなさい。

また、その輸送機関を答えた理由を、簡単に答えなさい。

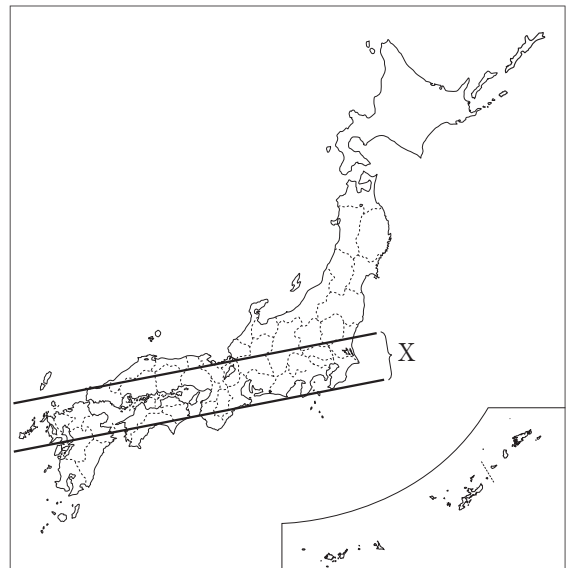
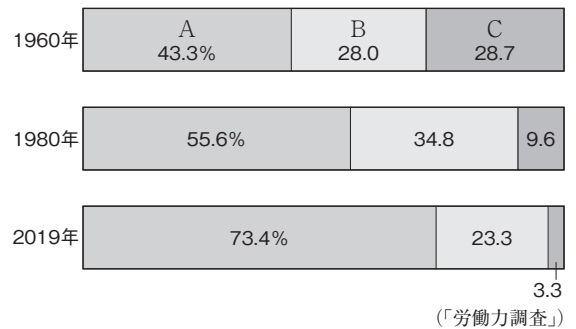
輸送機関()

理由()

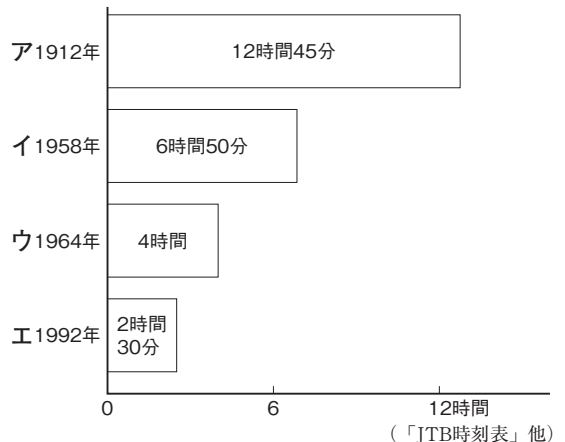
□(6) 近年、情報通信技術(ICT)の発達により、人々の消費生活はどのように変化したか。簡単に答えなさい。

()

I



II



Ⅲ

